



精神病態セミナー

希な生物学的な特徴を伴う 統合失調症患者の病態を検討する

演者：尾関 祐二 先生

滋賀医科大学 精神医学講座
教授

日 時 2024年 8月 2日（金） 18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法 Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費 無料

参加方法 8月1日（木）までに下記URLよりお申し込みください。
精神疾患病態研究部のHPからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/HC3aV5shpnFVg7Um6>

※事前申込が必要です。

E. Bleulerは「Schizophrenieは恐らくかなりの数の疾患を包括するものであろう」と予測した（下坂幸三 新版精神医学事典 1992年 弘文堂）。この“かなりの数の疾患”の内の一つを見出すことができないか、その足掛かりとして稀ではあるが明らかな生物学的な特徴を利用できないかとの考えのもと研究を進めている。こうした手法は多数例を対象とした研究の様な包括的で力強さはないものの、ごく一部ではあるが統合失調症と診断される患者の生物学的な特徴を具体的に明らかにできるのではないかと期待している。当日は染色体転座や薬物療法による副作用とされている症状を足掛かりとした検討を紹介する。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）